

神児研は「しんじけん」と読みます。神奈川の社会的養護関係施設の横のつながりの深さを活かした研修・調査・交流・行事等の事業を運営委員会を主体として実施しています。神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市所管の児童養護施設・乳児院・児童自立支援施設・児童心理治療施設・自立援助ホーム等の職員の団体です。

Monthly Feature

施設紹介 ～子どもの園（こどものその）～

児童養護施設「子どもの園」は社会福祉法人福光会の運営するキリスト教の精神を基礎とした児童養護施設です。前身は、横浜・日ノ出町にあった「BOYS HOME」で、1971年に「子どもの園」へ名称変更、1974年に現在の茅ヶ崎市に引っ越してきました。

topic 1

御年91歳！！ 園長先生



1968年に前理事より要請を受け和田直熙が施設長へ就任しました。以降、2026年2月現在まで、現役で施設長として「園長先生」と親しまれながら職員と子どもたちを見守ってくださっています。

2025年12月19日に91歳を迎えられました。かなりの読書家でお部屋にはたくさんの本があります。そこで得た知識は、インサイドオリエンテーションで職員へ伝えられています。

topic 2

おはようからおやすみまで 住み込み勤務



子どもの園は珍しい住み込みの「生活勤務」が基本であり、おはようからお休みまでを同じ職員が見守っています。

子どもたちと、生活だけでなく居住も一緒にすることで、「共に住もう」ということを大切にしています。子どもの園が子どもたちにとって新しい住まいとなるように日々を過ごします。「人は人の中で人となる」という言葉の通り、他者との繋がりを持って生活しています。

topic 3

施設の目玉行事 清里キャンプ

子どもの園にはたくさんの行事があります。中でも一番大きな行事は「清里キャンプ」です。

山梨県北杜市の清里聖アンデレ協会のお庭を借りて4泊5日(コロナ前は5泊6日)を過ごします。子どもも職員もボランティアさんもみんなでテントを建てたり、水道を繋げたり、生ゴミ用の穴を掘ったり、協力してキャンプの準備を行います。食事の準備は拾ってきた薪を使って自分たちで火を起し、用意された材料を切り、調理します。子どもたちの中にはキャンプが子どもの園の行事で一番楽しみと言う子どもも多いです。日程の間には、清里の自然に触れ合う時間もあれば、登山をする時間もあります。



topic4

豊かな自然で育む 施設の環境



子どもの園は茅ヶ崎駅からバスでおおよそ20分程度の距離にあります。園内には「中庭」「グラウンド」「畑」「裏山」と子どもたちがたくさん遊ぶことができる環境があります。



中庭ではキックボードやリップスティックを始めとしたり物やリレー、鬼ごっこなどで遊んでいる子どもたちがいます。グラウンドでは、主にボールを使った遊びが展開されることが多く、サッカー、野球、バレーなど、職員も子どもも混じって楽しんでいます。



畑では職員が野菜を育てたり、秋のお芋掘りに向けてさまいもを育てています。その横で砂場遊びをしたり、落とし穴を掘ったりしています。裏山では、頂上にブランコがあり、それを楽しむこともあこっそり秘密基地を作ったり、たけ回ってみたり、色々な楽しみ方をしています。



column

運営委員の思いを…



第3回運営委員コラムは、相模原南児童ホーム 二瓶が担当します。

神児研運営委員になり、3年目を終えようとしています。来年度も神児研の運営委員をやらせてください、と上司に頭を下げました(笑)私にとっては、神児研はかけない場所となりました。

神児研では、「横のつながり」が強みで、とても大切にしています。施設間での意見交換、時には心に秘めているあれこれを話したり…。初めて神児研に参加したとき、自分の施設のことしか分からなかった私は、なんというか、「衝撃」という言葉が近かったかもしれません。当たり前ではないこと、足りないこと、同じ!と安心することなど様々なことを感じ、共感し、学べる場所です。そんな場所で、運営委員会に参加している方々に会い、私は毎回刺激を受けています。神児研に参加した後は、少し誇らしい気分で施設に戻っている気がします。

とんでもなく要領が悪く、忘れっぽく、大丈夫か私!と思うことが多い私ですが、自分の施設のために、そして神児研のために、来年度も精進してまいります。



hot news

未来ある子どもたちのために

昨年12月、金嶋観光グループ会長の金嶋昭夫様より、神奈川県に高額なご寄付をいただきました。

「児童養護施設から社会に出る子どもたちの支援のために役立ててほしい」との温かいご厚意を賜り、心より感謝申し上げます。

いただいたご寄付は、1月に開催した神児研卒業生送別マラソン大会において、完走した高校3年生へ贈るギフトカードとして活用させていただきました。

子どもたちの新たな門出を応援する貴重な支援となり、参加した子どもたちの屯って大きな励みとなりました。

このたびのご厚志に、改めて深く御礼申し上げます。金嶋様ありがとうございました。



発行：神奈川県児童福祉施設職員研究会（神児研：しんじけん）

〒211-0035 川崎市中原区井田3-16-8

川崎こども心理ケアセンターかなで内



044-751-3223



www.subarashiisaito.co.jp

